

復興フォーラム

テーマ「震災から6年 ふるさとへの帰還の課題と展望」



浪江町 馬場有町長

多摩市 阿部裕行市長

林 久美子さん

小丸 真司さん

鈴木 孝有さん

あの日からまもなく6年。浪江町民は今もなお全国各地で避難生活を余儀なくされています。福島県は自主避難者に対する住宅の無償提供を2017年3月末で打ち切る方針を提示。避難者の間に不安と動揺が広がっています。また、福島から横浜に避難した転校生へのいじめの問題が起きました。これは氷山の一角で避難者への冷たい仕打ちは各地で問題になっています。馬場有町長は、「3.11以来私どもの基本的人権は、すべて失われている」、「孤立感、慣れない土地での生活、肉体的、精神的にも蝕まれている。憲法25条の生存権すらも失われている」と訴えられています。

一方、多摩市の阿部裕行市長は、3.11以来原発に依存しない社会「脱原発社会」をめざし、環境に優しい再生可能エネルギーの普及と資源循環型社会の実現をめざし積極的に取り組まれています。震災や原発事故を風化させないために、私たちに何ができるか考える機会にしたいと思います。ぜひ、ご来場ください。

基調講演：浪江町 馬場 有町長 多摩市 阿部裕行市長

パネラー：小丸 真司氏（浪江町正西寺住職）鈴木孝有氏（浪江町アドバイザー）

林 久美子氏（一般社団法人多摩循環型エネルギー協会理事）

コーディネーター：平 清太郎（桜ヶ丘商店会連合会 副会長）

日時：平成29年2月18日（土）13時30分～16時（開場12時15分）

場所：ヴィータホール（ヴィータコミュニエ8階）聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分

定員：250名（無料・先着順 申込み不要）※直接会場へお越しください。

☆お問い合わせ先：桜ヶ丘商店会連合会 ☎042-373-5869 FAX：042-400-7825 E-mail:office@seiseki-s.com 〒206-0011多摩市関戸2-24-14-303

◎主催：第36回せいせき桜まつり実行委員会 ○共催：関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会

☆後援：多摩市・多摩市教育委員会・多摩商工会議所・多摩市社会福祉協議会・多摩青年会議所